

吉野川
いぢり

To LOVERu
DARKNESS
FAN BOOK

成人向
FOR ADULT ONLY





な…
何でこんな事…っ

お前とは感覚を
共有していると
言っただろ…

お前が朝から
コレを固くしてた
からだろう？

こんな状態では
気になって眠れんのだ

だ…
だからって…っ

くっ…



それと射精する
感覚というのにも
興味あってな…

だから一度
体験させる

しかし意外と
デカイな…

口に入り
きらないぞ…

ちよ…っ



おい…
ぽーっとしてないで
私のも舐めろ

へっ？

全く…気が利かない
ヤツだな…



自分の体から生えた女の子の
アソコを舐めるとか…

ぬちゅっ

妙な背徳感があるな



ほら
早くしろ

わ…わかったよ



なかなかいいぞ…

その
調子だ♡

ちゅるん

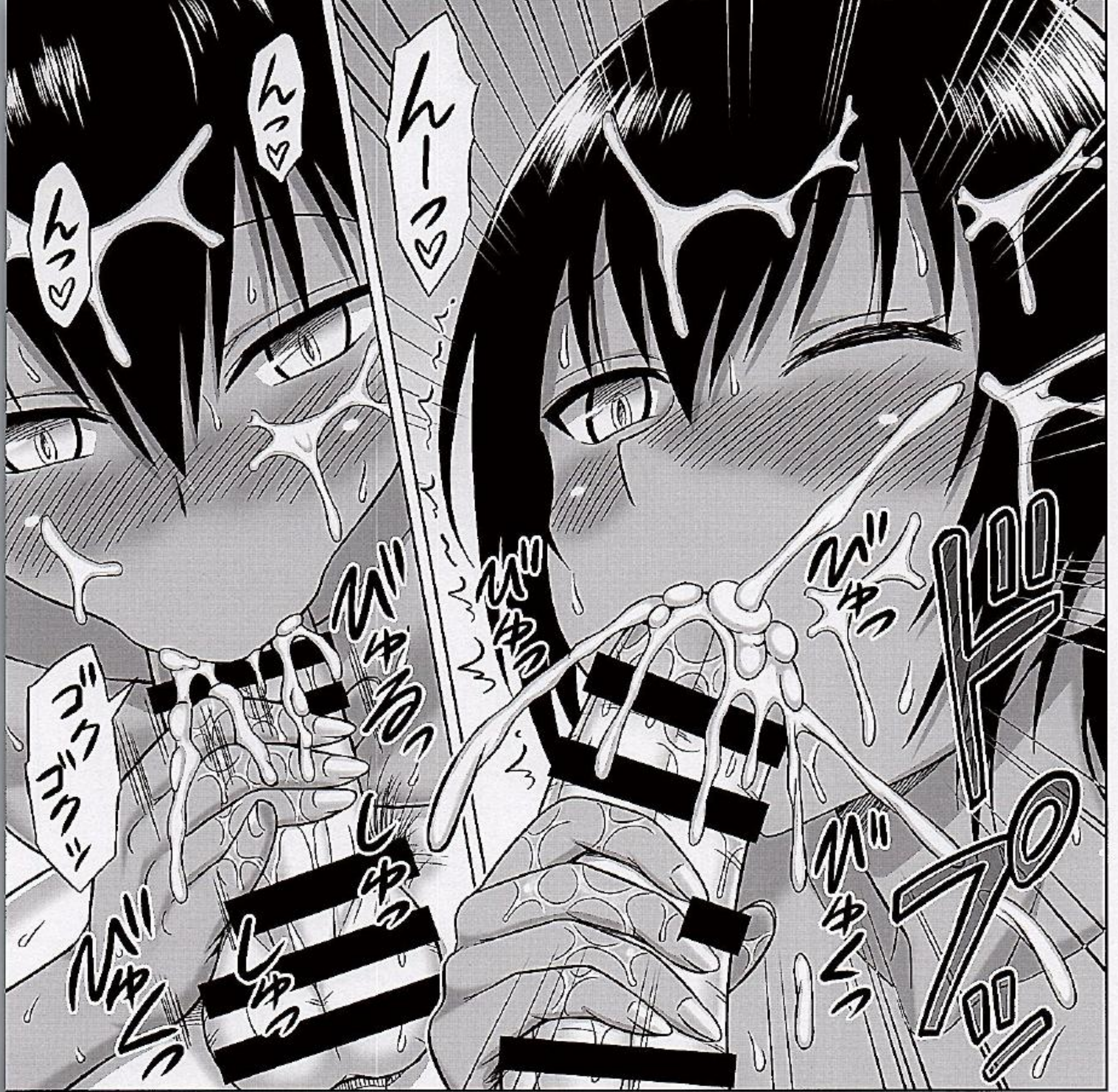
じゅるん

ビクッ

ビクッ

ぬちゅん

ぬちゅん



あまり旨いものではないな…
だがタークマターが少し回復したぞ♡

そうなの!?

ふむ…

思ったより
射精るのだな…

はっっ

はっっ



古手川!

あの…明日の
事なんだけど…

あー明日ね…うん
わかってるよ…

後で
電話するから…

そう…
じゃあ
また後でね…

何だ? 明日
何かあるのか?

いや…古手川と
デートの
約束をして…

それよりネメシス…
お前デート中に
変なちょっかいは
やめてくれよ…

どうかな…
私は誰の
指図も受けん

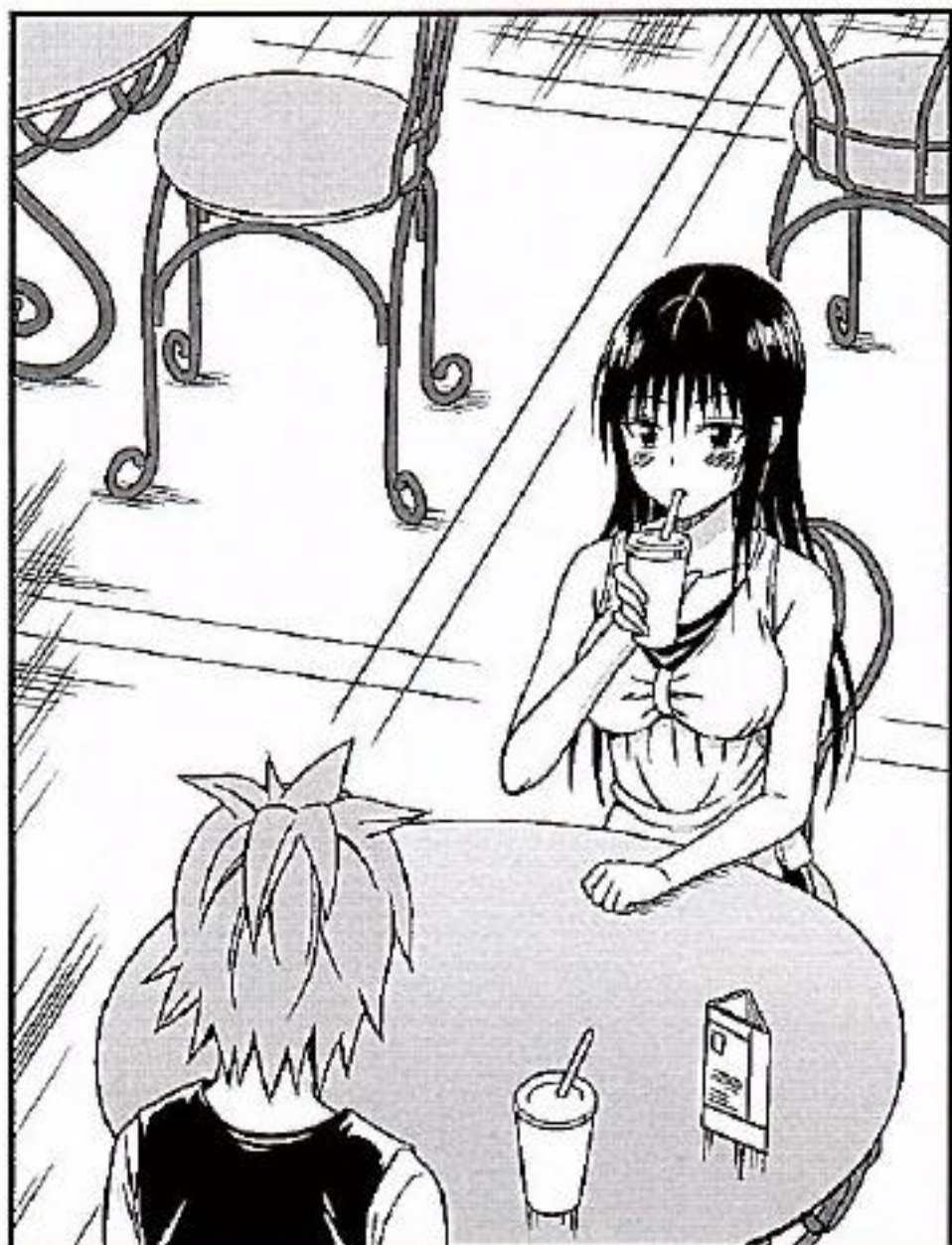
そうか…
お前らは既に
そういう
関係なんだったな…

モモ姫の
言っていた
ハーレム計画と
いうやつか…

う…
不安だ…

※この物語内でのリトと古手川は付き合っています。

デート中



あれ？そういえば
今日は朝から一度も
ネメシスの声を
聞いてないな：

眠って
いるのか？



うくん…この後
どうしようか：

いつもだと
何となしに
「家に寄ってく？」
と誘ってそのまま
部屋でHするといふ
流れなんだけど：

なるほど…
いつもそんな風に
誘っているのか：



こっ…ココ…
古手川！

え？



今からオレの家で

セックスしよーぜ!!

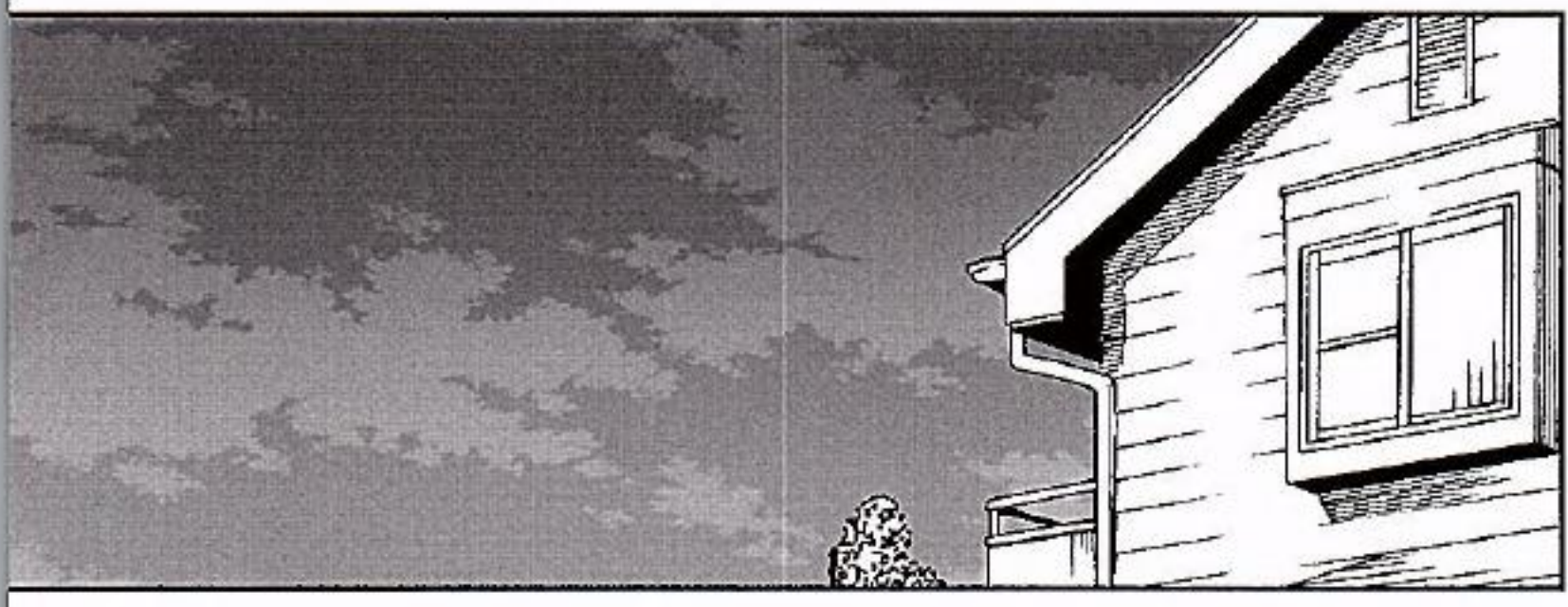


バカーっ!
なんちゆう
誘い方してんだよ!



.....

何だ?
何かマズかったのか?



ハレンチな——ッ!!!

ごめん

全く…道端で
あんな
恥ずかしい事
叫んで…

非常識よ!

ほんとゴメン…



何だかんだ言って
家には来るんだな
この女…

内心は喜んでるんじゃないのか?



もう黙ってて

あんなハレンチな
誘い方して…

そ…そんなに私と
したかったの？

えっ？

あっ…うん
実はそうなんだ…っ

よし…いっちょ
私が揉んでやるか！

そーいや
ネメシスが中にある
状態でHするのは
初めてだ…

あいつの事だ
絶対何か
して来るぞ…

ドド
キキ

しかしデカイ
おっぱいだな

!?

あっ
こらーっ

おおーデカいだけあって
なかなかいい感触だぞ

!?

オレの手を勝手に
動かすなーっ!



もみっ

もみっ

はあ♡

むにっ

なっ...何これ?

あ♡

はあ♡

むにっ

むにっ



だんだん
乗ってきたな...よし
本格的に行くぞ!





ああ…っ♡

あ…♡

はーっ

ビクッ

ふふーん♪ どうだ
私のテクでへろへろに
してやったぞ



ネメシス…
お前どこでこんな事
覚えたんだよ…



あんまり
見ないで…

おーもうすっかり
濡れてるじゃないか…
エロい娘だ♡

ぬっ



よし
次は下の方を攻めると
するか♪

あっ…

お前！
また勝手に…っ



濡れてるから
すんなり入るな...



Gスポットは
この辺かな？



あゝ



また今までされた
事のなひ攻め方...



今日の結城くん
いつたい何なの？



何独り言
言ってるの？

あつ…ゴメン
なんでもないんだ…
——って古手川
何してんの!?

さっき一方的に
イカされたお返しよ!

た、びん

目にもの見せて
あげるんだから…

う…っ
それ…ヤバイ…

ここが
いいんでしょう？

うあっ

ひちやっ

うああ



古手川…っ
も…もう出さう…っ

いいわよ♡

あーん

あーん

あーん

たぶん

溜まった精液…
いっぱい
出しちゃってえ♡

で…っ

ビクッ

ビクッ

出るっ!

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ん♡

ビクッ



凄い…

こんなに
いっぱい…

あ…ゴメン
出し過ぎちゃった？

謝らなくていいの！
気持ち良かったなら
それでいいじゃない

ハイ…



ねえ…
それより…

私…もうこんなに
なってるのよ…

早く
なんとかしてよ…

ドキ
ドキ
ドキ

古手川っ！

ぬちゃっ

これ…子宮に
ぐりっ来てえ…っ♡

たまらないのお…っ♡

あゝ
すっ
30
130

はあゝ

あゝ
すっ
30
130

あゝ
すっ
30
130

あゝ
すっ
30
130

古手川…っ
そんなにされたら…
すぐ出ちゃうよ…っ

ダメよ…
も〜っ
我慢して…♡

こんなに
気持ちいいんだから
もっ
楽しまないと…♡



おちんぼ…
気持ちイイよお…♡



私の膣内…
いっぱいにしてえ…♡

あああ♡♡



また締め付けが
強…っ

ダメだ…
もう出る…っ！

いいよ…
結城くんの
おちんぼミルクで…





あたま...
しびれちゃう...っ♡

あぁ♡

はぁ♡

あぁ♡

あん♡

はぁ♡

あぁ♡

あぁ♡

はぁ♡

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ





古手川帰宅後…

どうだ？
私のテクニクも
大したものだろう♪

俺は古手川にバレないか
ヒヤヒヤだったよ…

よし！次やる時は
私が上半身を出して
4本の腕を使っての
同時攻めというの
はどうだ？

はあ？
何だそりゃ！

こまき

名付けて…

あんどくぜつちようし
暗黒絶頂四妖拳
しやうけん

34

～奥付～

誌名：古手川いぢり
発行元：ぶれいんでっど
著者：Eiジ
発行日：2016/8/14

HP：<http://www.usamimi.info/~braindead/>
メール：eiji2043@yahoo.co.jp
印刷：ねこのしっぽ様

何それ…凄
馬鹿っぽい…

そうか？

完

～あとがき～
こんにちは、Eiジと申します。
スペースが狭いので手短かに…いや～古手川は最高ですね！以上！
さて…機会があればまた本を手にとって頂けるとありがたいです。
では～♪



おっぱいで
かみんご